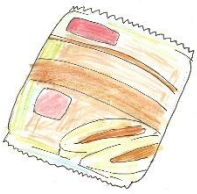

いちごオレ飲みながら アィツのうわさ話した

●宮城県白石高等学校

楽屋に突撃インタビュー

●本番の感想＆雰囲気：
今回は数ヶ月に渡る創作活動記録の再生となりました。実は地区大会の撮影を顧問がしたのは 20 数年間で初めてでした。コロナ禍でさえもしなかったのに。不思議なものです。こんな形で役に立つなんて。

●思い出に残った台詞
「た、たろう！」という海荷の台詞

●自分たちが選ぶ MVP
部員全員が CAST という今回の作品。そのうちの１名が緊急入院となり、大会前日に参加不可能が明らかになりました。そのことが明確になるまで「最後まで諦めず、今できる最大限の挑戦をやり抜こう。学ぶ機会を与えてもらってると思い、必ず学んで成長しよう。」と声を掛け合っている部員たちが MVP。顧問にとって生涯の宝です。

●頑張ったこと・難しかったこと・工夫点
各場面の演技のあり方を、演出からの一方通行にならないよう、互いに意見を交わそうとした。

●これからに向けて
今回の県大会でやろうとしたことを今年度中に自主公演として発表します。

お客様インタビュー

・楽しく演技していて良かった。３人の距離感に違和感がなく、見ていて楽しかった。
・最後の盛り上がるところが良かった。ぜひ生で見たいと思った。

●役作りで意識したこと
役作りの各自の考えを徹底的に納得するまで語り合った。

●大会期間中に流行ったワード
学ぼう（顧問だけの流行）

●本番中のハプニングあった?
VTR での出場！

運営委員が観た！この劇の感想

３人それぞれのキャラクターが、動きや話し方、衣装の差などから、とても分かりやすく伝わった。ベンチの裏に書かれていた短歌に対する反応や、瑠璃色の好きな人探しという、いかにも女子校生らしい内容にぴったりの演技で、最後の歌のシーンは、まさに青春そのもの。映像という形でしたが、感情がとても伝わってきて良かったです。　担当者：外山（宮城学院）